

第54回NHK杯全国高校放送コンテスト神奈川県大会審査講評

### アナウンス

- ・自校生徒へのニュースという原稿が少ない。自校生徒を相手としていない原稿はどんなにうまく「読み」でも大量減点されます。
- ・原稿の初めの部分に話題を提示するのがよい。
- ・誰に向かったのニュースかわからない
- ・文章が長すぎる。推敲が足りない。
- ・マイクの使い方に工夫が必要。
- ・感想文のような文章はニュースにならない。
- ・声を張りすぎのアナウンスが目立つ。自然な語り口を心掛けること。

### 朗読

- ・読み間違いが、イタイです。
  - 一間（いっけん）→いっかん
  - 地（ち）→ぢ
  - 下士官（かしかん）→げしかん など
- ・楽しい物語をホラーの様に読んでしまっています。とくに群ようこの作品。
- ・自分の読み易いリズムと聞いてころよいリズムはちがいます。
- ・声が出ていない。
- ・マイクのスイッチを入れ忘れないように。
- ・こちらに伝わらない。なぜでしょう。
- ・何人ものちがう大人の人に聞いて感想をもらおう。
- ・上手ですが、口先だけに聞こえます。
  - 難しいのですが、もう一歩ふみ出して下さい。

### ラジオドキュメント

- ・インタビューは「生」が勝負、身内の「さくら」インタビューはやめましょう
- ・インタビューのノイズに気をつけよう。雑踏の音・マイクを握る音など
- ・インタビューの準備をしっかり
  - つっこむような質問を
  - 相手の答えに対して再度の質問を
  - ただ聞いてきておしまいにならないように
- ・自分の学校でしか出来ない内容は、良い評価を受けた。
- ・「聞（聴）かせる」ことを考えて、全体のテンポを考えよう！

### テレビドキュメント

- ・ドキュメントとは何かをよく考えてみましょう。
- ・構成を考えて取材・編集をしていきましょう。

- ・伝えたいことは何かをハッキリさせましょう。

映像でハッキリとつたえてほしい

- ・起と結で言いたいことがブレていく作品が多くありました。
- ・たくさん取材して構成をしないとダラけるときが見られます。
- ・カメラワークで、目的を明確にしてフレームを決めて下さい。
- ・企画力の大切さを感じた。「伝えたいこと」をいかに分かりやすいネタで表現していくか、よく考えて欲しい。
- ・ドキュメントの場合、聞かせる相手は自校生徒ではありません。一般の放送に乗ることを意識して作成しましょう。大人が作る様な作品ではなく「**高校生が、高校生の視線で作った作品**」が高い評価を得ます。

## ラジオドラマ

- ・スクリプト等がきちんと綴じていないところがありました。
- ・著作権処理を要項・プリントで確認して下さい。  
フリー音源、音源装置に関するものがありました。
- ・SE・BGMの記述は丁寧に書いて下さい。  
レベルや音源名に記号をつけるなどの工夫をして下さい。
- ・ノイズ対策（録音の方法）の研究をしましょう。
- ・SEで街の中で流れている楽曲で著作権処理が必要なものがあります。注意して下さい。
- ・工夫を凝らしているものもあり、良い作品もありました。  
間のあけ方、BGM、SEとの混ぜ方、使い方の研究をすともっと良くなる可能性のある作品もありました。これからも頑張って研究して下さい。

## 創作テレビドラマ

- ・現場の状況に合ったBGMを使うこと。
- ・脚本をしっかり書き、物語の流れのあるドラマにすること。演技も練習しておくこと。
- ・画面が逆光であったところがあったので注意すること。
- ・編集ご苦労様でした。来年に向けて良い作品を作ってください。